

二十四の瞳 映画村

Shodoshima
Twenty-Four Eyes
Movie Studio



汐江海岸



展望台 絶景!

男先生の家

竹馬に挑戦!

1 木造校舎

漁師の家
ロケで使用された民家

二十四の瞳の像「せんせあそぼ」 大石先生とじゃんけんぼん!

2 キネマの庵
いおり
ギャラリー日本映画黄金期1950'
Café シネマ倶楽部

休憩所

石の店西山
石で作った
商品がずらり

4 みさきの創麺屋

昭和レトロな
映画看板

5 Gallery
KUROGo

6 花咲か爺さんの花畑
春菜の花、夏向日葵、秋秋桜。

7 ギャラリー松竹座映画館
8 Book Café 書肆海風堂

3 壁画アート 恋のダンスパーティー

からかさ亭

大正屋
小豆島のお土産を
幅広く扱うお店

おみくじ
光の径

9 二十四の瞳天満宮
パワースポット!

コブダイのこぶちゃん

京宝亭
佃煮専門店 佃煮屋さんになりきって
記念撮影ができるギャラリーも

10 壺井栄文学館

15 岬の分教場(本家)
木下恵介監督・高峰秀子主演の映画ロケ地

二十四の瞳館
お土産店

フィギュア
ギャラリー
海洋堂
(2019年夏予定)

カ石

11 チリリン屋
「二十四の瞳」オフィシャルショップ

ギャラリー
浪蕨屋
アンティークな
雑貨屋さん

「二十四の瞳」の小説の舞台となった苗羽尋常小学校田浦分校は、映画村の約700m手前にあります。

←700m

入口(受付)

12 シネマ・アートウォール

14 渡し舟乗り場
オリブビーチから離発着

13 愛のポラード

🍴 食事処 WC トイレ ❤️ AED ♿ 身障者用トイレ 👶 ベビーシート 📷 撮影スポット



Shodoshima
Twenty-Four Eyes
Movie Studio

二十四の瞳 映画村

Guide Map

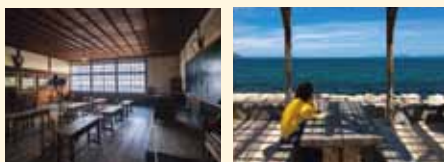


二十四の瞳 映画村

小豆島を舞台にした壺井栄の名作『二十四の瞳』をはじめ、映画『八日目の蟬』や様々なドラマ・CMで撮影される昭和の村を再現しています。
壺井栄文学館をはじめ、シアター、映画ギャラリー、BOOKカフェ、土産物店などが並び、昔懐かしい時代にタイムスリップして大人から子供まで楽しめる邦画のテーマパークです。

1 木造校舎

苗羽尋常小学校田浦分校の撮影用セット。窓の外に広がる瀬戸内海に心が癒されます。



2 キネマの庵

ギャラリー日本映画黄金期1950' 昭和の雰囲気に囲まれて日本映画の映像や写真をご覧いただけるギャラリー。



Café シネマ倶楽部

小豆島の民俗資料に囲まれたレトロな雰囲気の中で、昭和の懐かしい給食セットや小豆島の人気B級グルメ「醬(ひしお)丼」などを楽しめる空間です。



3 壁画アート 恋のダンスパーティー

インスタ映えするスポットが登場。花束を持ったイケメン紳士からプロポーズを受けたり、老紳士と楽しくダンスする事が出来ます。

4 みさきの創麺屋

映画『八日目の蟬』でロケの舞台となった素麺屋、丹念に一本ずつ延ばしていく手延べ麺は伝統の味として定評があります。

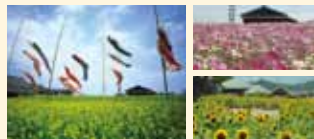
5 Gallery KUROGo

写真やアート、様々な企画展を開催するギャラリー。



6 花咲か爺さんの花畑

春は菜の花と鯉のぼり、夏は向日葵、秋は秋桜と四季に応じて、花畑が変わります。その周りには作家壺井栄が大好きだった夾竹桃が植えられています。



7 ギャラリー松竹座映画館

昭和の映画館の面影が漂うレトロな映画館。映画『二十四の瞳』を常時上映。ゆったり観れる大型スクリーンで日本映画の素晴らしさをご堪能下さい。特別上映として、劇団☆新感線を映画にした『ゲキ×シネ』を定期的に開催。演目等はHPでご確認ください。『ゲキ×シネ』上映中の時は、木造校舎にて映画『二十四の瞳』を上映。



二十四の瞳 上映時間 ・9:00~11:38 ・11:39~14:17 ・14:18~17:00

8 Book Café 書肆海風堂

醤油蔵を模した、味わいのある建物の2階。女優高峰秀子ギャラリーと劇団☆新感線ブースを併設したゆっくりと寛げる空間のブックカフェ。窓からの眺めは最高です!



9 二十四の瞳天満宮

太宰府天満宮より御霊分けされた天満宮。シェイクスピアの名言で記されたおみくじもおすすめ。天満宮へ続く「光りの径」は未来へ続く希望の道。祈りをこめて歩きましょう。



10 壺井栄文学館

『二十四の瞳』の原作者 壺井栄が愛用した調度品や生原稿を展示しています。また、壺井繁治、黒島伝治コーナーもあります。



11 チリリン屋

二十四の瞳映画村オフィシャルショップ。瓶牛乳や人気の醤油屋「ヤマロク醤油」の塩キャラメル風味「極上醤油ソフト」がオススメ。



12 シネマ・アートウォール

日本映画壁画パネルアート。(写真提供:松竹株式会社) 全長54m圧巻の存在感。銀幕を飾ったスターたちの名場面がよみがえります。



13 愛のポラード

瀬戸内国際芸術祭2016 清水久和作品展示『愛のポラード』



14 渡し舟乗り場

二十四の瞳映画村とオリーブ・ナビ棧橋(オリーブ・ビーチ)を結ぶ渡し舟。

セット券がお得! 渡し舟往復利用券+映画村入村券

・大人(中学生以上) … 1,790円 → **1,480円** 販売所: オリーブナビ/道の駅 小豆島オリーブ公園
・小人(小学生) … 880円 → **740円** ペイリゾートホテル小豆島

15 岬の分教場(本家)

小説『二十四の瞳』の舞台となった田浦分校。教室には当時のままの机やオルガン、子どもたちの作品などが残っており、ありし日の想いでがよみがえるでしょう。

「岬の分教場」とのセット券

・大人(中学生以上) … 1,030円 → **880円**
・小人(小学生) … 500円 → **440円** ※幼児は入村無料のため、セット券はございません。

レンタル着物で気分は昭和にタイムスリップ! 一着500円

(入口受付へお申し出ください。)
緋(かすり)の着物をレンタルできます。昔なつかしい着物を着て、村内を散策してみませんか。(都合により休止している時期がありますので係にお尋ね下さい。)



住所	香川県小豆郡小豆島町田浦甲931
電話	0879-82-2455
駐車場	あり(150台)無料
入村時間	9:00~17:00
休村日	なし
入村料	大人(中学生以上) 790円 小人(小学生) 380円



ACCESS

高松港からフェリーでお越しの方

坂手港・田浦映画村行きバス、終点「田浦映画村」下車すぐ。

お車でお越しの方

草壁港から国道436号を東へ。安田交差点を直進し県道28号、古江交差点を越え県道249号に入り西へ。坂手港から約15分、草壁港から約20分、池田港から約35分。

オリーブナビから直行便

渡し舟(所要時間約10分)が便利。(※運航についてはお問い合わせください。)

